

令和8年度当初予算 概要

令和8年2月
消防局

1 令和8年度 予算規模

(単位:百万円)

	令和8年度 当初予算案(A)	令和7年度 当初予算(B)	増減 (A)－(B)
一般会計	2,961	2,687	274

※職員給与費を除く

2 主要施策

(1)令和8年度 予算編成の方針

消防局では、「市民の生命、身体及び財産を災害から守る」という使命のもと、火災や大規模災害時の被害軽減を図るため、消防車両の更新や人材育成等、消防体制の充実強化に取り組めます。

また、映像や体験型訓練を活用した火災予防対策の強化に取り組むとともに、消防団活動や市民防災活動への支援などを通じて、地域全体で災害対応力を高める取り組みを推進します。

さらに、令和7年の救急件数が過去2番目を記録するなど、高齢化等による救急需要の増加に対応するため、デジタル技術を活用して救急患者の早い病院収容に取り組む、「安らぐまち」の実現を目指します。

(2)令和8年度「安らぐまち」の実現に向けた主要施策

○あらゆる災害に対応するための消防体制の整備

継続 常備車両更新事業 629百万円

車両更新計画に基づき、常備消防の車両を計画的に整備する。

令和8年度は、水槽付消防ポンプ自動車や救助工作車など9台の車両を更新する。



【水槽付消防ポンプ自動車】



【救助工作車】

継続 非常備車両更新事業 98 百万円

車両更新計画に基づき、非常備消防(消防団)の車両を計画的に整備する。

令和8年度は、消防ポンプ自動車4台と小型動力ポンプ付積載車2台を更新する。



【消防ポンプ自動車】



【小型動力ポンプ付積載車】

新規 常備消防安全対策整備 4百万円

消防隊員の熱中症発症リスクを最小限に抑え、過酷な状況下でも活動能力を維持・向上させるため、熱中症対策用の資器材等を整備する。

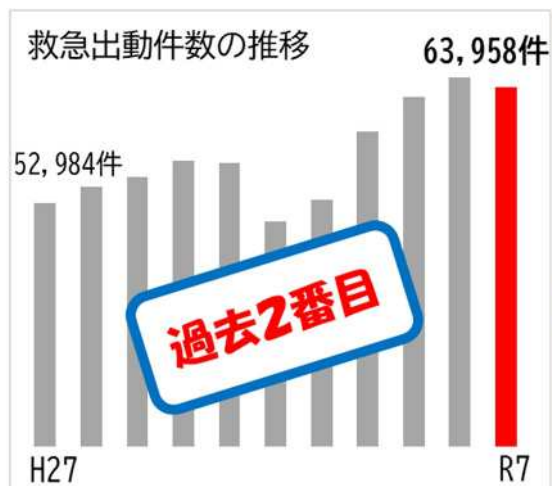
- 継続**
- ・消防体制の充実強化
 - ・消防施設の整備 など

○救急体制の強化

継続 救急車の更新事業

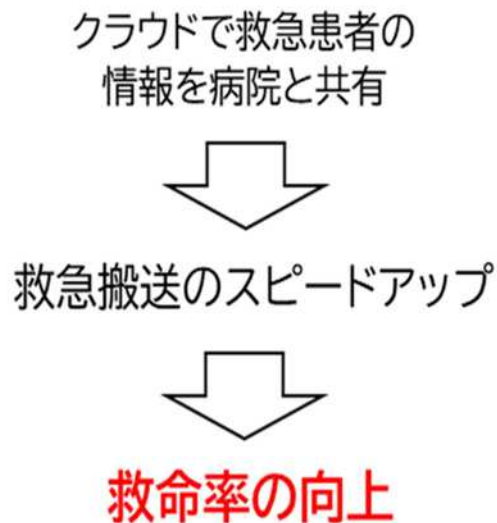
124百万円

車両更新計画に基づき、救急車3台を更新する。



継続 ICTを活用した救急搬送スピードアップ事業

19百万円



継続

- ・救急救命士の資格取得
- ・救急活動の質の向上
- ・市民による応急手当の普及啓発活動の推進 など

○火災予防対策の強化

継続 火災予防の推進事業

4百万円

市民の防火意識を醸成するため、地域ぐるみの防火訓練や映像を用いた啓発活動を行うなど、効果的な火災予防の普及啓発を推進する。



【消火訓練装置を用いた訓練】



【VRを用いた防火啓発】

継続 ・防火査察の強化 など

○地域における災害対応力の向上

新規 消防団クールビズ事業

4百万円

消防団員の安全確保及び活動の効率化のために、個人及び分団単位で利用できる効果的な熱中症対策用資機材を整備する。

新規 消防団加入促進事業

5百万円

大学等と連携し、若者目線で入団促進事業を推進する。

継続 ・消防団の充実強化
・いきいき安心訪問の推進
・市民防災活動への支援 など



3 主な事業

「安らぐまち」の実現

●生活基盤の「安心」を支える

新規	・常備消防安全対策整備	4百万円
消防隊員の熱中症発症リスクを最小限に抑え、過酷な状況下でも活動能力を維持・向上させるため、熱中症対策用の資器材等を整備する。		
新規	・消防団クールビズ事業	4百万円
消防団員の安全確保及び活動の効率化のために、個人及び分団単位で利用できる効果的な熱中症対策用資機材を整備する。		
新規	・消防団加入促進事業	5百万円
大学等と連携し、若者目線で入団促進事業を推進する。		
継続	・火災予防の推進事業	4百万円
市民の防火意識を醸成するため、地域ぐるみの防火訓練や映像を用いた啓発活動を行うなど、効果的な火災予防の普及啓発を推進する。		

●暮らしの「安心」を支える

継続	・ICTを活用した救急搬送スピードアップ事業	19百万円
患者情報を早期に医療機関と共有できる「患者情報管理システム」により、迅速な搬送を実施する。		
継続	・救急車の更新事業	124百万円
更新年限を迎える救急車3台を更新し、適正な救急体制を確保する。		
継続	・救急救命士の資格取得事業	15百万円
薬剤投与や気管挿管など、高度な処置が行える救急救命士を計画的に養成し、救急活動の質の向上を図る。		

【問合せ先(全体に関すること)】
消防局 総務課
田中(課長)、池田(係長)
TEL 093-582-3802